



平成23年11月10日

各位

会社名 株式会社 博報堂DYホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 戸田 裕一
 (コード番号 2433 東証第一部)
 問合せ先 I R 部長 八木 聡
 (TEL 03-6441-9033)

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結) 参考資料

本日公表しました平成24年3月期 第2四半期決算短信の主要な点につきまして以下の通りまとめましたので、参考資料とさせていただきます。

記

1. 連結損益計算書 要約 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(単位：百万円)

	平成23年3月期	平成24年3月期	前年同期比	
	第2四半期 (実績)	第2四半期 (実績)	増減額	(%)
売上高	434,132	430,994	△ 3,138	-0.7%
売上総利益	70,431	70,363	△ 68	-0.1%
(売上総利益率)	(16.2%)	(16.3%)	(+0.1%)	
販管費	67,592	67,874	281	0.4%
営業利益	2,838	2,488	△ 350	-12.3%
(オペレーティング・マージン)	(4.0%)	(3.5%)	(-0.5%)	
営業外損益	1,313	1,368	55	
経常利益	4,152	3,857	△ 294	-7.1%
特別損益	△ 4,139	△ 1,680	2,459	
税引前利益	13	2,177	2,164	---
四半期純利益 (損失)	△ 3,343	△ 889	2,453	---

(オペレーティング・マージン) = 営業利益 / 売上総利益

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災の影響や海外景気の下振れ懸念等により依然として厳しい状況下にあるものの、サプライチェーンの復旧による生産活動の回復や各種の政策効果を背景に、徐々に持ち直しの動きが見られました。このような経済状況を反映して、国内広告市場(注1)は、震災直後となる第1四半期(4月～6月)には前年同期比6.2%減とマイナスで推移したものの、第2四半期(7月～9月)には前年同期比でプラスへ反転する見込みであり、得意先企業の広告出稿は着実に増加しております。

このような環境下、当社グループは、中期基本戦略である「次世代型の統合マーケティング・ソリューションの実践を通じて、企業のマーケティング活動全体の最適化を実現する責任あるパートナーとなる」ことをベースとして積極的に営業活動を行ってまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、第1四半期(4月～6月)の大幅な落ち込みから回復し、売上高は4,309億94百万円(前年同期比0.7%減)、売上総利益は703億63百万円(同0.1%減)と、ほぼ前年同期の水準となりました。営業利益は24億88百万円(同12.3%減)、経常利益は38億57

百万円（同7.1%減）に止まりましたが、投資有価証券評価損を主な内容とする特別損失が前年同期の42億93百万円から18億41百万円へ大幅に減少したことで、税金等調整前四半期純利益は、21億77百万円（前年同期は13百万円）と大きく増加いたしました。税金等を控除した四半期純損失は8億89百万円となりましたが、前年同期（33億43百万円の四半期純損失）からは24億53百万円損失が減少しております。

当第2四半期連結累計期間の売上高を種目別に見ますと、震災の影響でテレビスポットを中心に大きく落ち込んでいた4マスメディア取引合計は、第2四半期累計（4月～9月）では前年同期を下回りましたが、第2四半期（7月～9月）には前年同期を上回りました。一方、4マスメディア以外は、新規子会社の寄与等でインターネットメディアが大きく伸び、4マスメディア以外の取引合計は、第2四半期累計（4月～9月）で前年同期を上回っております。

また、売上高を得意先業種別に見ますと、「不動産・住宅設備」「外食・各種サービス」「薬品・医療用品」等が第2四半期累計（4月～9月）で前年同期を上回りました。また、生産面で震災の影響を大きく受けた「飲料・嗜好品」「自動車・関連品」等は、第2四半期（7月～9月）で大幅に回復しております。（注2）

（注1）「特定サービス産業動態統計調査」（経済産業省）によります。

（注2）当社の社内管理上の区分と集計によります。

2. 連結貸借対照表 要約（平成23年9月30日）

（単位：百万円）

	平成23年3月末		平成23年9月末		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	(%)
流動資産	362,086	76.4%	319,130	73.5%	△ 42,956	-11.9%
固定資産	112,039	23.6%	114,995	26.5%	2,956	2.6%
資産合計	474,126	100.0%	434,126	100.0%	△ 39,999	-8.4%
流動負債	255,999	54.0%	217,268	50.1%	△ 38,731	-15.1%
固定負債	11,670	2.5%	11,837	2.7%	167	1.4%
負債合計	267,670	56.5%	229,106	52.8%	△ 38,564	-14.4%
株主資本	199,213	42.0%	197,048	45.4%	△ 2,164	-1.1%
評価・換算差額等	△ 2,506	-0.5%	△ 929	-0.2%	1,576	
新株予約権	154	0.0%	189	0.0%	34	22.5%
少数株主持分	9,593	2.0%	8,711	2.0%	△ 881	-9.2%
純資産合計	206,455	43.5%	205,020	47.2%	△ 1,435	-0.7%
負債及び純資産合計	474,126	100.0%	434,126	100.0%	△ 39,999	-8.4%

3. 通期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

広告市場環境は、震災直後の大きな落ち込みから、急速に回復しつつありますが、現時点で見通しを変更するだけの確かな判断材料がないため、平成23年5月12日発表の平成24年3月期通期の連結業績予想は変更しておりません。

なお、参考までに、平成24年3月期 通期の連結業績予想は、下記の通りとなっております。

(単位：百万円)

	上期			下期			通期		
	平成24年3月期	前年同期比		平成24年3月期	前年同期比		平成24年3月期	前年同期比	
	実績	増減額	(%)	見通し	増減額	(%)	見通し	増減額	(%)
売上高	430,994	△ 3,138	-0.7%	512,006	9,662	1.9%	943,000	6,524	0.7%
営業利益	2,488	△ 350	-12.3%	11,912	484	4.2%	14,400	134	0.9%
経常利益	3,857	△ 294	-7.1%	12,543	△ 412	-3.2%	16,400	△ 707	-4.1%
当期純利益（損失）	△ 889	2,453	-	7,289	△ 604	-7.7%	6,400	1,850	40.7%
(株 ^レ ・テイ ^ン グ [・] ・マ ^ジ ン)	(3.5%)	(-0.5%)		(14.3%)	(+0.4%)		(9.4%)	(+0.0%)	

(株^レ・テイ^ング[・]・マ^ジン) = 営業利益 / 売上総利益

注) 下期見通しは、通期見通し - 上期実績

(注) 業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上